

## 第1回 リーク量トレーサビリティ検討会開催のご案内

近年、エアコンなどからのフロンガスの漏れをはじめ、信頼性の高い漏れ量測定への要求が高まっています。通常、リークディテクタは、標準リーク（漏れ基準器、リークマスターなどとも呼ばれています）を用いて感度を校正します。（独）産業技術総合研究所では、その標準リークの国家標準であるリーク標準を整備・供給し、昨年9月にはスニッフ法へも供給範囲を拡大しました。

実際の作業現場でリークディテクタを用いて漏れを検査するとき、標準リークのトレーサビリティは正確な漏れ量測定を行うための重要な要素となります。トレーサビリティを担保する第三者認証制度として、（独）製品評価技術基盤機構（NITE）が運営する、計量法に基づく校正事業者登録制度である JCSS（Japan Calibration Service System）がありますが、漏れ量については整備されていません。圧力真空クラブでは、このような状況を鑑み、漏れ量のトレーサビリティの整備や JCSS 制度の利用について検討することにしました。

今回は、その第1回として、漏れ測定的重要性や JCSS 制度に関連が深い方々をお招きし、講演していただく機会を設けました。リークディテクタメーカーのみならず、これから JCSS を利用・登録しようと考えている皆様にも是非ご出席いただき、漏れと JCSS についての理解を深めていただければ幸いです。

**日時：** 2013年9月27日（金） 14:00～16:35（受付 13:30～）懇親会：17:00～

**会場：** 機械振興会館 地下3階 B3-1号室（東京都港区芝公園 3-5-8）

**参加費：** 無料（懇親会：2,500円）

### 講演プログラム <各講演30分（質疑応答）>

開会の挨拶	イントロダクトリートーク	（産総研）	新井健太	14:00～14:10
1.	冷凍空調業界における地球温暖化防止への取組	（(一社)日本冷凍空調工業会）	松田憲児	14:10～14:40
2.	JCSS 制度の概要	（(独) 製品評価技術基盤機構）	嶋岡智司	14:40～15:10
<休憩>				
3.	産業現場から見た JCSS 制度	（三興コントロール(株)）	田村 純	15:30～16:00
4.	漏れ量測定の国家標準と漏れ量の JCSS について	（産総研）	新井健太	16:00～16:30
閉会の挨拶		（産総研・圧力真空クラブ長）	藤井賢一	16:30～16:35

終了後、講師の方々をお招きして懇親会を開催します。講師への質問、相互の情報交換等、有意義なディスカッションができますので、こちらにも多数ご参加下さい。

### 参加申し込み方法

下記、問合わせ先に電子メールで検討会、懇親会のそれぞれについてお申し込み下さい。会場大ききの都合により、1社あたりの人数を制限させていただく場合や、お受けできない場合もございます。予めご了承下さい。

### 問合わせ先

産業技術総合研究所 計測標準研究部門 力学計測科 圧力真空標準研究室 新井健太  
e-mail: pres-vac-club-leak-sec-ml@aist.go.jp